

2026年4月30日

2025年度 決算概要について

(2026年3月期)

1. 2025年度実績

四国電力向け売上高は、定検関連工事や火力発電所の設備修繕工事が増加したことなどから、前年度を上回った。一方、一般向け売上高については、バイオマス関連工事が減少したことなどから、前年度を下回り、売上高全体では、前年度に比べ25億20百万円増収の506億68百万円（前年度比5.2%増）となった。

また、経常利益は前年度に比べ3億33百万円減益（同10.2%減）の29億51百万円となった。当期純利益は5億7百万円減益（同21.1%減）の18億93百万円となり、増収減益の決算となった。

(単位：百万円)

| | | 2025年度 実績 | 対前年度 増減額 | 対前年度 増減率 | 2026年度 計画 | 対前年度 増減額 |
|-------|--------|--------------|-------------|-------------|--------------|-------------|
| 売上高 | 四国電力向け | 29,407 | 3,083 | 11.7% | 32,641 | 3,233 |
| | 一般向け | 21,260 | ▲563 | ▲2.6% | 24,112 | 2,852 |
| | 計 | 50,668 | 2,520 | 5.2% | 56,754 | 6,086 |
| 営業利益 | | 2,741 | ▲347 | ▲11.2% | 2,181 | ▲560 |
| 経常利益 | | 2,951 | ▲333 | ▲10.2% | 2,330 | ▲620 |
| 当期純利益 | | 1,893 | ▲507 | ▲21.1% | 1,619 | ▲273 |

2. 2026年度計画

売上高については、四国電力向けは火力発電所向け設備修繕工事の増などにより、前年度を上回る見込み。一般向けについても、他電力原子力発電所関連工事の増および、風力発電所建設工事の増などにより、前年度を上回る見込み。売上高全体では、60億86百万円増収の567億54百万円を見込む。

利益については、売上高は増収となるものの、利益率の低下を見込み、経常利益は2025年度に比べ6億20百万円減益の23億30百万円を見込む。

以上

本件に関する問い合わせ先
総務・危機管理本部
総務企画部 企画広報グループ
E-mail:kouhou@yon-e.co.jp